

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	庄原市			代表者名	木山 耕三
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画部	連絡先電話番号	0824-73-1148
担当者役職	専門員	担当者氏名	小川正夫	連絡先E-mail	
住所	727-8501 広島県庄原市中本町1-10-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名（予定）	DXアクションプラン策定実施支援事業
概要	職員や管理職がデジタルを活用した業務変革に自ら取り組み、アクションプランを策定して実施していくための他団体の具体的な事例等を含めた講義やワークショップ実施を行っていただくもの。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	10	令和6年8月8日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年8月6日	講演(実地)	13時30分	17時00分	30
				活動時間（分）	180
2-2. 派遣場所	会場名	庄原市役所	最寄駅	備後庄原	
	所在地	広島県庄原市中本町1-10-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤井 靖史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DX推進に関する課題について、むりやりデジタルを使ってもらうのではなく意識醸成や合意形成を踏まえて進めることが重要であるなど大変有益な助言が得られたほか、本市が抱える若手職員の退職などの個別課題に対しても自治体の現職CDOとしての経験による助言を受けられた。引き続き質問や意見交換、事例提供等もいただく予定。
アドバイザーへの要望事項	引き続き課題解決に向けアドバイスをお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	60人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	住民	
人数	60	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	人口減少・少子高齢化が進む中山間地域に位置し、税収減少や労働不足等の状況が間近に迫っているため、課題解決のために明確なビジョンと戦略を描き、デジタルを活用した業務変革としてDX推進を進めようとしているが、まだ一部のプロジェクトの推進に留まっている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	業務のやり方を変えていくことその手段としてデジタルが活用できることについて広く職員や管理職が理解し、他の自治体の具体的な事例等も参考にしながら、自らの抱える課題についてデジタルを活用した業務改革として実施していく全庁的なDX推進の機運を醸成し、具体的なアクションプラン策定とその実施を行う。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	講演において、DXではデジタル化が目的ではなくユーザ視点に立った変革が重要なこと、変化委の激しい社会情勢の中では従来のPDCAループでは柔軟に対応できない場合もあるため、OODA(ウータループと呼ばれる手法で、短いサイクルで対応していくとよいなどの助言を受けた。庄原市では幹部層と若手職員層を取り結ぶ中間管理職層の人員が薄いため、若手職員と幹部層を結ぶための追加の工夫が必要などの助言も受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今回の講演はDXの機運醸成に向けたものでもあり、今後に向けてデジタルに出口を絞るのではなく10年後20年後を見据えて今何をしておくべきか、失敗してもよいので、あるいは小さな成功でもよいので、何かアクションできることについて庁内で検討を進める予定である。また、次回の10月までの間も講師との間で質問対応等も実施して双方の準備を進めていく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 現時点は準備段階であるため、具体的な成果物はできていないが、講演受講者へのアンケート結果は大変好評であり、DX推進の庁内の機運醸成が大きく進むと考えられる。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	現在、庁内のDX推進に向けたアクションプラン検討に対応するヒアリングも準備している段階であり、今回の講演会やアンケート結果も踏まえて来年度に向けた業務改革/BPRやデジタル変革を推進していく予定である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果では「大変よかった」「よかった」が計87%であった(概要を下記6に添付)	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 今回の講演会やアンケート結果も踏まえ、ワークショップ等を10月に行うことで検討。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員や管理職等が自課の課題についてデジタルを活用した改革を検討していく機運を醸成し、きめ細やかな行政サービス提供と地域課題解決による住民のWell-being状態実現に取り組んでいる状況。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

(1) 藤井アドバイザーによる講演の模様 (令和6年8月8日)



(管理職向けの回)



(職員向けの回)

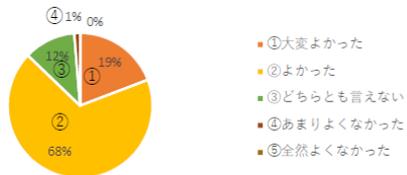


(2) 講演受講者へのアンケート結果

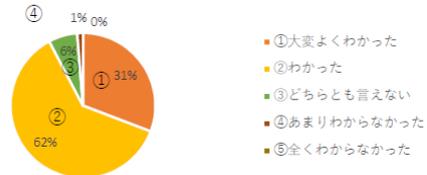
受講回	回答数
管理職向け（8月8日に会場で受講）	15
全職員向け（8月8日に会場またはオンラインで受講）	24
録画で受講<8月19日時点>	39
合計	78

管理職向けの回と全職員向けの回で概ね同じ講演内容であったため、回答はまとめて集計しています。

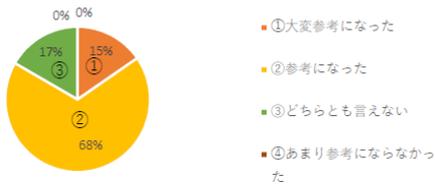
1. 講演全体について



2. DXの考え方について



3. 実践事例について



4. 庄原市のDX推進について

